

令和4年度

令和5年3月30日評価実施

ひばり保育園：園評価

(評価) A:大変良い B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

I・保育理念		評価
子どもの最善の利益の考慮	・全ての園児について一人一人の最善の利益とその人権を尊重している。	A
	・子どもの人格を尊重した声掛けをしている。	B
	・子どもの意思や行動を大切にしたり関わりをしている。	A
	・園の理念や保育方針を理解し実践している。	A
II・子どもの発達援助		
(1) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場	・保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。	A
	・一日の生活の流れに無理が無いように配慮し、保育環境の安全と清潔が保たれている。	A
(2) 生活と発達の連続性	・好きな遊びを十分に楽しめるように計画し、働きかけをおこなっている。	A
	・一人一人の子どもの発達過程に合わせた目標や計画を作成し保育している。	A
	・重要な申し送り事項を記録し、進級時等に引継ぎをしている。	A
(3) 養護と教育の一体的展開	・子どもの生活を24時間でとらえ、家庭（保護者）や職員間での連絡、連携をしている。	A
	・子どもの家庭の状況や要望、成長歴を把握している	A
	・基本的な生活習慣は、園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	A
(4) 環境を通して行う保育	・子どもが保育士や友達とともに過ごすことを楽しめるような配慮をしている	A
	・一人一人が興味・関心を持って遊べるよう援助している。	A
	・子どもがしたいこと、して欲しいことを話しているとき、最後までゆっくり聴くようにしている。	A
	・子どもがのびのびと体を動かせるような遊びの環境を意識してつくっている。	A
	・子どもが自発的に表現するよう、自由に使える様々な素材を用意している。	A
	・生活や遊びの中で、食に関する興味関心が広げられる働きかけをしている。	A

	・園児に分かりやすい温かな言葉使いで穏やかに話している。	A
	・身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている。	A
	・園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている。	A
Ⅲ 保護者に対する支援		
(1) 家庭との連携	・園だより、クラスだより、連絡帳を通して子どもの成長の喜びを保護者と共有出来るようにしている。	A
	・保育参観、保育参加、保護者参加行事などを通して、保育内容・保育の目的などをわかりやすく説明している。	A
	・毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。	A
	・悩みを抱えている保護者の援助をこころがけている。	A
(2) 地域における子育て支援	・一時保育事業を行っている。	A
	・地域の関係機関や施設の研修などに参加している。	A
Ⅳ 保育を支える組織的基盤		
(1) 健康及び安全の実施体制	・子どもの日々の健康状態を把握している。	A
	・園児の健康診断は定期的実施されその結果は職員や保護者に伝達され保育に反映されている。	A
	・施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って行い不具合な箇所を必要な対策をとっている。	A
	・地震・火災・不審者侵入時などの緊急対応手順を理解している。	A
	・指導計画について、各月の振り返りを行い、次月の向けての計画を検討している。	A
(2) 資質の向上	・保育に関する専門書を読んだり、研修に参加し知識や技術の向上に努めている。	B
	・職員として不正、不適切な行為を行わないよう、守るべき法規範、倫理などを理解している。	A
(3) 社会的責任	・守秘義務を理解し、個人情報について、園のルールに基づき取り扱っている。	A
	・保護者からの意見や要望、苦情を迅速に園長に報告し、職員間で共有し、改善している。	A

総評価

・コロナ禍での保育も3年目。園内の消毒を継続し、エントランスでは保護者の体温を毎日計り、昼には園児の体温を毎日計測して、体調の変化には敏感でいるように努めた。マスクをしての保育、保護者にも園内でのマスク着用のお願いは続いた。園内での横広がりでの感染拡大は無かったが、家庭内での感染は多く、園児や職員の家族が陽性判明で、その辺での第7波の影響があった。

・園児のコロナ陽性者が出ると、同じクラスの園児は全員が濃厚接触者になり、早お迎えか別棟での保育になった。翌日は家庭保育に協力してもらったが、急で仕事の都合が付かない場合は別棟での保育を行った。

・年長児にコロナ陽性者が判明した関係で、年長児の「お泊り保育」は中止し、代わりに時期を少しずらして「お楽しみサマー保育」を行う。宿泊はしなかったが、夏ならではの楽しい体験を沢山する中で、友達との触れ合いを深めた。こども達の様子から、とても楽しんでくれていたことが伺えた。

・運動会、ウォークフリー遠足など3年ふりに保護者を入れての行事を行う。密にならない事を考え、学年ごとに開催時間を分けた。また両方の行事共に、感染防止の消毒や内容についての工夫を行った。保護者には概ね好評であったと思う。年長児については、希望者はお弁当を持参してもらい、親子で食べて帰れるようにもした、親子での行事が復活してにぎやかになり、園児も保護者も沢山の笑顔を見せてくれた。

・保育参観は、6月と11月の2回(1ヶ月ずつ)に実施した。年間2回の参観となり、保護者に日々の保育を見ていただく機会を増やした。11月の参観中に職員にコロナ陽性者が出て、参観を一旦中止し、残りの参観は2月に再開した。2回とも参観に来てくれる家庭と一度も参観に来ない家庭とあり、寂しい思いをしている子も居るのではないかと心配に思う。